



とうき

あんぜんかんり

ちゅういじこう

冬季の安全管理の注意事項について



～楽しく安全な雪上活動のために知っておいて欲しいこと～

1 屋根の軒下には近づかないで！

○屋根が外壁から張り出した部分の真下を「軒下」、
屋根の端に垂れ下がって張り出した雪の塊を
「雪庇」といいます。

屋根に積もった雪や、雪庇が突然落下（落雪）
してくるため、積雪期の軒下は大変危険です。



○降ったばかりの新雪は軽く柔らかいですが、太陽光で溶けたり、
雨が降ったりした後の雪は「かさ」が減って固く締まっており、
見た目以上に重くなっています。

固まった雪の重さは、1㎡（縦・横・高さ1m）あたり
なんと約300kgもあります！

落雪に巻き込まれた場合、命を落とす危険があります。

○屋根の熱で雪が溶けることでできる
「つらら」は特に危険です！

つららは4m以上まで成長することもあります。

巨大なつららが落下した時の衝撃力は凄まじく、
頑丈な木の板で作られた冬囲いでさえも
いとも簡単に破壊されてしまいます。



みなさんへのおねがい

落雪・つららや、転落などの危険がある場所には
竹ざおで「×」の形の目印をつけたり、

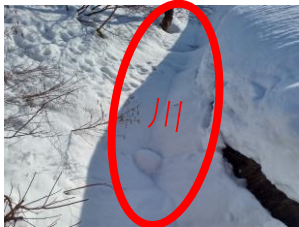
ロープで立入禁止の表示をしたりしています。

竹ざおの向こう側は危険な場所なので、
絶対に近づかないでください。



2 雪の下に隠れている！川や池の危険性

○真冬に積雪量が増えると、雪が「ふた」のようになって、川や池を覆い隠してしまうことがあります。



川の上を開いた穴

○このような「隠れた川」「隠れた池」に近づくと、突然、穴が開いて水の中に落下することがあり非常に危険です。

みなさんへのおねがい

川や池の近くにも、竹ざおで「×」の形の目印をつけてあります。

竹ざおの向こう側には近づかないてください。



3 凍結注意！転ばないように気をつけて！

○晴れた日の朝は「放射冷却」で気温が下がり、水たまりや日陰の雪面が凍りやすくなります。

○特に、雪の階段や、踏み固められた雪の斜面は非常に滑りやすくなっています。



みなさんへのおねがい

①小さな歩幅でそろそろと歩く「ペンギン歩き」が基本です。

体の重心をやや前におき、かかとからではなく、

靴の裏全体を路面に付けるように歩きましょう。

②ゴム長靴など靴底が滑りにくい履物を用意しましょう。

③転倒時の安全対策のため、帽子や手袋を身に着け、

両手はポケットから出して歩きましょう。

